

# 千葉市のほうれん草のこと 知っているかな？



農家さんへのインタビュー



林 裕さん(若葉区中野町)

作成協力



千葉県立保健医療大学  
中村、常田

## Q1. ほうれん草が育つまでを教えてください。

①たいひをまいて(写真1)、土をつくります。

「たいひ」とは、動物のフンや葉っぱなどを混ぜて作った肥料のこと

②土をかため平らにします。

③クリーンシーダ(写真2)(種をまく機械)で種をまきます。

④5~6時間、水をまきます。

⑤春~秋は3~4日、冬は1週間~10日で芽が出てきます。

⑥ほうれん草が22cm(写真3)くらいまで成長したら、手で収穫します。

40日くらいで収穫できるようになるよ!



(写真1)



(写真2)



(写真3)

## Q2. おいしいほうれん草をつくるためにどのような工夫をしていますか。

土作りにこだわって自分で作ったたいひを使っています。たいひを使うことで元気なほうれん草ができます。たいひは、馬やニワトリのフンやもみがら(お米の外の皮)を使って自分で作っています。

## Q3. おいしいほうれん草の見分け方を教えてください。

濃い緑色で、じくが太いものがおいしいほうれん草です。



## Q4. 子供たちへのメッセージをお願いします。

みんな野菜を食べていますか？おいしく作るためにいろいろな努力をしているので、みんなほうれん草を食べてね！たくさん食べてもらえたらうれしいです。はげみになります。

### ~農家の方にインタビューをして感じたこと~

ビニールハウスの中は、立っただけでもふらふらするほどむしむしと暑く、農作業の大変さを学ぶことができました。わたしたちが、おいしい野菜を食べることができているのは、土づくりをはじめとする農家さんの努力のおかげであることがわかりました。

